

審議会等名	令和5年度第1回つくばみらい市移動スーパー推進協議会
開催日	令和5年8月30日（水曜日）
開催場所	つくばみらい市役所伊奈庁舎3階大会議室
出席者	出席委員：若山修一委員、大里ひで子委員、齊藤弘子委員、荒井せつ子委員、青木正明委員、浅川昭一委員 事務局：草間部長、野澤課長補佐、原田係長、田中 事業者：株式会社カスミ 黒田氏
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・移動スーパーの運行状況及び実績報告 ・移動スーパー運行スケジュール改編 ・移動スーパーイベントの実施について ・意見交換
議事概要	<p>○開会 午後1時30分</p> <p>○会長あいさつ</p> <p>○議事1 移動スーパーの運行状況及び実績報告 ＜事務局説明＞</p> <p>若山会長 停車時間を決めるにあたっては、サロン等の開催時間等に合わせるなどしているのか。</p> <p>事務局 停車場所においてサロンのほか、地域による介護予防活動等が行われている場合は、調整が可能な限り活動時間に合わせて停車するようにしている。</p> <p>若山会長 地域活動に合わせて停車させることは、移動スーパーの利用者増には、とても有効であると考えてるので、調整ができるのであれば、そのような停車場所をぜひ増やしてほしいと思う。</p> <p>青木委員 移動スーパーのチラシはどのようなタイミングで配布しているのか。</p> <p>事務局 運行スケジュールの変更を行ったタイミングで、停車場所がある行政区に回覧等により配布している。その他要望等があれば随時配布を行ってきたが、今後はより多くの方に周知するため、例えば65歳になった方に介護保険証を郵送する際に、チラシを同封するなどしていきたいと考えている。</p> <p>大里委員 利用者の多い停車場所について、利用者が多い要因として停車時間にサロン等が行われているためとの説明があったが、停車場所の周辺の世帯数などにも左右されるのではないのか。</p> <p>事務局 ご指摘のとおりと考える。停車場所の周辺の世帯数が多けれ</p>

ば利用者も多くなるということはあると思う。

○議事2 移動スーパー運行スケジュール改編

<事務局説明>

若山会長 新たな駐車場所はどのように選定したのか。

事務局 地域からの要望があり、アンケートを実施した結果、一定程度の利用が見込めると判断した場所を新たに選定した。

青木委員 新運行スケジュールからは土曜日は運行しないということで良いか。

事務局 そのとおりである。

青木委員 運行をやめる理由が何かあったのか。

事務局 運行スケジュールの見直しにあたり、(株)カスミ様からは、利用者数が著しく少ない箇所について、見直しを行ってほしい旨の要望をいただいた。そこでアンケート調査を実施した上で、利用が見込めないと判断した9か所について廃止することとした。それに伴い、コスト削減の観点から運行スケジュールも週5日とした。

青木委員 土曜日を廃止すると仕事をしている方などは、平日は利用できない方が多いが、土曜日を廃止することについてはどのように考えているか。

事務局 事業の目的が買物弱者支援対策であることから、原則として、高齢等により、自分で買い物に行くことが困難な方を対象とした事業であることが前提にある。ほとんどの駐車場所で、運行を開始してから経年により利用者が少しずつ減少するという傾向がみられる。アンケートの結果を見ると、普段の買い物をどうしているかという問いに対し、「家族に定期的にスーパーマーケットに連れて行ってもらう」と答えた方が一定数いた。以上から、始めは移動スーパーを利用していたとしても、次第に家族に買い物の送迎をしてもらえる人は利用しなくなるため、移動スーパーを継続的に利用される方は、買い物に行く手段を持たない方ではないかと考えている。よって、就労中の利用者はそこまで多くないのではないかと考えている。

荒井委員 確かに最近は一人暮らし高齢者が多い。移動スーパーで取り扱っている商品について、高齢者が好む物をもっと取り扱ってほしいと感じている。

齊藤委員 同感である。揚げ物が多いが、高齢者は煮物の方が好むのではないか。店舗では数多くの商品を取り扱っていると思うので、高齢者の好む物を取り扱ってほしい。

	<p>事業者 移動スーパーでは約 650 品目を搭載している中で、冷蔵商品は約 180 品目程度である。(株)カスミでは移動スーパーとして 63 車両が運行している。商品に関する要望がある場合はドライバーに対し、次週に持ってきてほしい旨を伝えていただきたい。ドライバーと地域の利用者がコミュニケーションを積み重ねることによって、次第に利用者の要望にあった移動スーパーになっていく。そしてそれが利用者の増加につながっていくものと認識している。また、駐車場所では、なるべく地域の利用者とのコミュニケーションを大事にしてほしい旨を各店舗の店長に伝えているところである。</p> <p>荒井委員 利用者には一人暮らし高齢者が多いと思うので、お弁当類の種類をもう少し増やしてほしい。</p> <p>事業者 持ってきてほしい物をドライバーに伝えていただければ、次週以降に要望にあった商品を持ってくる。それでもまた要望の物と違うのであれば、要望に合う物を検討して持ってくる。このようなやりとりを続けていくことで利用者の満足度の向上にもつながると考えている。</p> <p>齊藤委員 確かにドライバーとのコミュニケーションが重要だと思う。利用者側も要望を伝えていないから、商品が代わらないといった側面はあると思う。</p> <p>大里委員 舟戸地区では要望を伝えるようにしている。要望を伝えれば、次週に要望通りの商品を持ってきてくれる。持ってこれない時も「もう少し探して次週以降持ってくる」など、ドライバーが話してくれる。移動スーパーではドライバーとのコミュニケーションが重要だと実感している。</p> <p>荒井委員 巡回する順番が後の駐車場所では、買いたい商品が少なくなってしまう。</p> <p>齊藤委員 それでも箕輪地区では一人当たりで購入する量が多い。それだけ利用者は買い物を移動スーパーに依存している状況にあるといえるのではないか。</p> <p>○議事 3 移動スーパーイベントの実施について <事務局説明></p> <p>浅川委員 チラシには、粗品は先着順で配布との記載があるが、どれくらい用意してあるのか。</p> <p>事務局 今年度の 6 月の 1 週間の平均利用者数のおよそ 2 倍程度の数は用意している。</p> <p>若山会長 イベントは運行スケジュールが変更になる時期に合わせて行</p>
--	--

	うということで良いか。
事務局	そのとおりである。イベントの実施により運行スケジュールを広く周知する意味合いもある。
若山会長	昨年も同じ時期にイベントを実施したのか。
事務局	昨年は実施していない。今回は運行日が週6日から週5日になるなど、大きな変更となるため、より広く新運行スケジュールを知っていただくため、イベントを実施するものである。
浅川委員	今後、運行スケジュールを変更する際は、例えば運行順を変更することも検討してみてもどうか。
齊藤委員	利用者からもそのような声はあがっている。例えば箕輪地区は金曜日でも運行順は最後の方のため、次回から可能であれば、運行順は早い時間にしてほしい。
青木委員	運行順が後半であると商品が少なくなってしまうため、変更できる場合には運行順を変更することを検討しても良いのではないか。
大里委員	下小目公民館は駐車場所の中でも利用者が多い方だが、駐車順が最後というのは気の毒に思う。
事務局	そのような一面もあるが、一方で時間が変更となることで、これまで利用できていたのに利用できなくなる方も出てくる。アンケートでもそのような旨の回答をしている方が散見された。そのため、運行スケジュールの見直しにあたっては、多くの利用者がいる駐車場所についてはなるべく変更はせず、利用が少ない駐車場所を中心に変更した。
齊藤委員	確かに高齢者は停車する曜日や時間が変更になると、わからなくなってしまうかもしれない。
若山会長	運行スケジュールを組むにあたっては市で様々な点を考慮していると思う。今後土曜日は運行しなくなるなどの変更点があるので、混乱が生じないと良いと考える。
○議事4	意見交換
青木委員	以前、移動スーパーの商品に値札がついていないため改善してほしい旨の意見があったが、その後の対応状況はどうなっているか。
大里委員	最近では、値札がついていない商品も散見されるが、以前に比べれば値札がついた商品が多くみられるようになったと思う。
事業者	移動スーパーでは限られたスペースに多くの商品を積むため、値札をつけることにより、商品が見えにくい、分かりづらい、取り出しにくいといったデメリットが発生した。そのため現在は、バランスをとりながら値札を付けるようにしている。

	<p>値段を知りたい場合はドライバーに声をかけていただき、その都度お答えするようにしている。今後はデジタル化等により、デメリットを改善していく方法はないか検討を進めていきたいと考えている。</p> <p>・ 閉会 午後 2 時 3 0 分</p>
	傍聴者 1 名